

第6号議案 令和6年度長崎市一般会計予算

目次

1	災害防御費	2ページ
2	通信指令費	3～4ページ
3	【単独】消防車両等整備事業費 消防ポンプ自動車整備ほか	5～6ページ
4	【単独】消防施設整備事業費 消防団格納庫建設	7～8ページ
5	【単独】消防施設整備事業費 消防庁舎改修 (債務負担行為設定 消防局非常用発電設備制御盤内機器更新工事)	9～10ページ

消 防 局

令 和 6 年 2 月

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
264～265	9 消防費	1 消防費	1 常備消防費	3-3	災害防御費	千円 56,885

1 概要

各種災害及び事故等の災害防御活動に対応するため、各種訓練の充実や消防資機材の維持管理を行うもの。

2 事業内容

事項名	主な事業内容	事業費
緊急消防援助隊等の九州地区合同訓練実施に係る費用	・訓練施設設置業務委託費等 2,222千円	2,222千円
災害対応や消防資機材の補充等に係る費用	・消防車両等の燃料費 35,834千円 ・装備品及び消耗品の購入費 14,308千円 ・消防資機材等の検査及び手数料等 2,443千円 ・派遣に係る旅費等 2,078千円	54,663千円
合計		56,885千円

3 緊急消防援助隊等の九州地区合同訓練概要

概要
  <p>国内外で発生した大規模な災害に対応するため、九州各県の隊員が集結し、災害対応力及び連携の向上を図ることを目的とした緊急消防援助隊及び国際消防救助隊の合同訓練を長崎県消防学校等で11月頃実施する。</p>

4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※1	県支出金※2	地方債	その他※3	一般財源
千円 56,885	千円 1,314	千円 8,002	千円 -	千円 8,874	千円 38,695

※1 緊急消防援助隊活動費・国際緊急援助業務等負担金 ※2 長崎県石油貯蔵施設立地対策等補助金 ※3 消防事務委託町負担金、国際消防救助隊員ワクチン接種補助

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
264～265	9 消防費	1 消防費	1 常備消防費	3-6	通信指令費	千円 133,793

1 概要

119番通報等の対応業務、災害現場への出動指令及び情報管理を行うための総合消防情報システムや消防デジタル無線の運用を図るとともに、通信設備等を維持管理するもの。

2 事業内容

事項名	主な事業内容	事業費
【拡大分】救急安心センター事業(#7119)	・救急安心センター事業(#7119)負担金	4,723千円
総合消防情報システム等の運用に係る費用	<ul style="list-style-type: none"> ・総合消防情報システム保守委託 43,747千円 ・消防救急デジタル無線保守委託 41,991千円 ・システム通信回線等の使用料 26,515千円 ・住宅地図ソフトウェア使用料 8,771千円 ・NET119緊急通報システム使用料 2,376千円 ・道路地図ライセンス料 1,543千円 ・無線機修繕、バッテリー等の購入費 1,575千円 	129,070千円
	合 計	133,793千円

3 119番受信及び救急出場件数等

	令和3年	令和4年	令和5年
119番受信件数	39,612	43,291	46,053
救急出場件数	25,729	28,778	29,101
119番への医療相談及び病院案内件数	1,496	1,899	2,221
専用電話(825-8199)での病院案内件数	7,156	8,911	10,772



4 【拡大分】救急安心センター事業（#7119）の導入

(1) 概要

「病院に行ったほうがいいか」、「救急車を呼んだほうがいいか」など判断に迷うとき、医師や看護師などから症状に合わせたアドバイスを受けることができる電話相談窓口を、県と連携し、民間コールセンターへ事業委託することから、その費用の一部を負担するもの。【事業費 4,723千円】

令和6年1月現在、全国24地域で導入されており、長崎県は、九州において福岡県と熊本県に次いで3番目に導入する。【令和6年7月頃導入予定】

(2) 導入効果

市民に対する効果	救急需要に対する効果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 早期受診による重症化の予防 ・ 迅速な相談対応による不安の解消 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救急車の適正利用（不搬送など不急の救急出場の抑制） ・ 医療機関の受診の適正化 ・ 119番への医療相談等の減少

(3) 相談のながれ

「#7119」へ電話すると、医療相談を受け付ける民間コールセンターに通話が転送される仕組み。



5 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
千円 133,793	千円 —	千円 —	千円 —	千円 23,136	千円 110,657

※ 消防事務委託町負担金

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
266～269	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	2-1	【単独】消防車両等整備事業費 消防ポンプ自動車整備ほか	千円 140,400

1 概要

現在、配置している老朽化した消防車両及び機器を代替更新するもの。

2 事業内容

	事項名	数量	配置場所(経過年数)	事業費
消防署	消防ポンプ自動車※	1台	神浦出張所(21年)	34,500 千円
	高規格救急自動車 高度救命処置用資機材等	2台	消防局警防課(13年) 中央消防署(8年)	64,000 千円
	自動体外式除細動器 (AED)	3器	茂木出張所(7年) 小江原出張所(7年) 南消防署(7年)	2,100 千円
	空気呼吸器用ポンペ	10本	各消防署(15年)	1,600 千円
消防団	消防ポンプ自動車※	1台	第9分団(26年)	22,200 千円
	小型動力ポンプ	8台	団本部 (新規) 第26分団3部(20年) 第28分団7部(19年) 第29分団5部(21年) 第35分団2部(21年) 第51分団2部(19年) 第53分団1部(20年) 第55分団1部(21年)	16,000 千円
合計				140,400 千円

※消防ポンプ自動車は、令和5年6月市議会において令和5年度から令和6年度までの債務負担行為が承認されており令和6年度に、事業費全額を計上するもの。

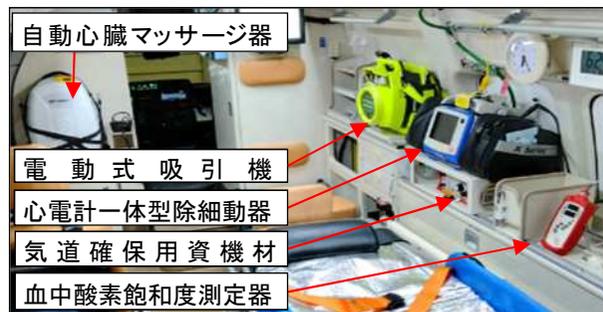
3 消防車両等の形状



【消防署・消防ポンプ自動車】



【高規格救急自動車】



【高度救命処置用資機材等】



【自動体外式除細動器(AED)】

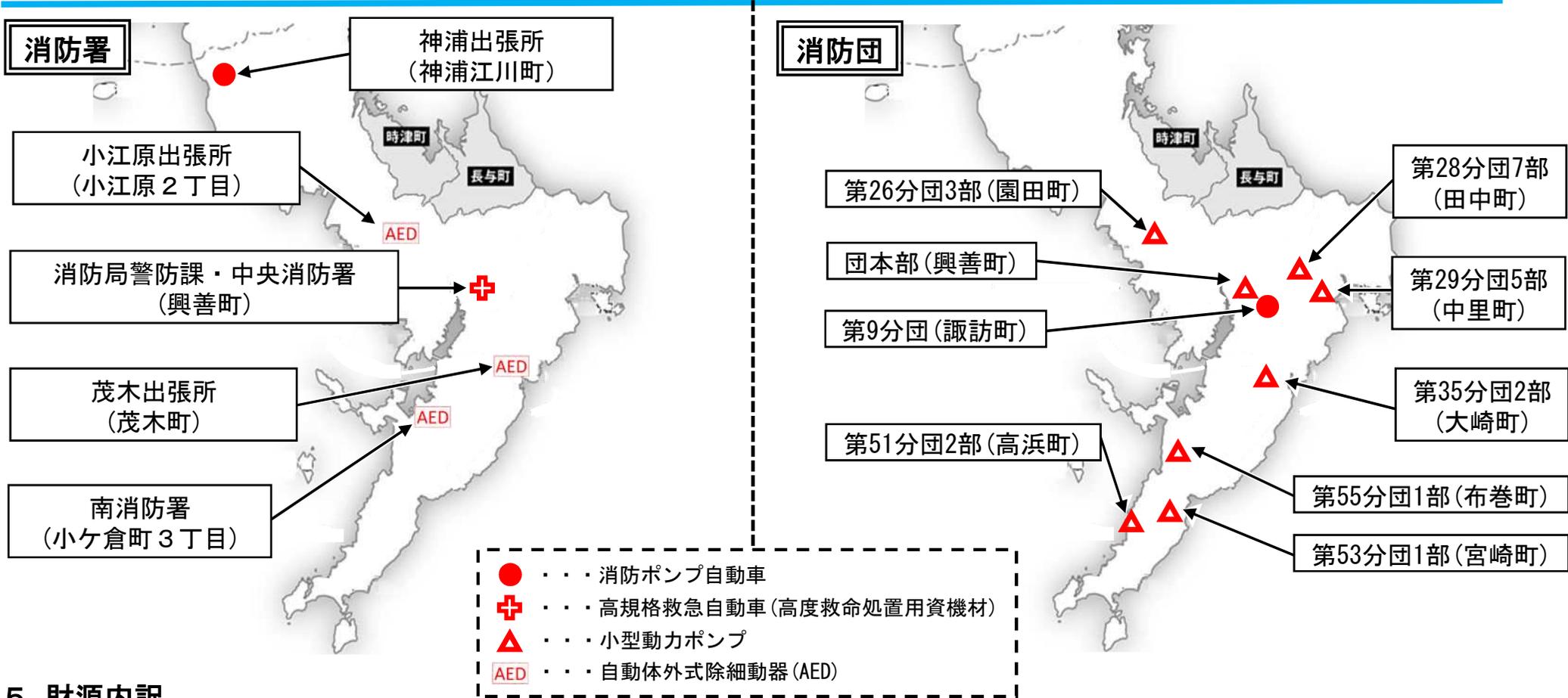


【消防団・消防ポンプ自動車】



【小型動力ポンプ】

4 消防車両等の配置場所位置図



5 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金※1	地方債※2	その他	一般財源
千円 140,400	千円 —	千円 2,550	千円 136,300	千円 —	千円 1,550

※1 長崎県石油貯蔵施設立地対策等補助金

※2 緊急防災・減災事業債 充当率100%(交付税措置率 70%)
過疎対策事業債 充当率100%(交付税措置率 70%)

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
266～269	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	3-2	【単独】消防施設整備事業費 消防団格納庫建設	千円 51,000

1 概要

地域の防災拠点である消防団格納庫の充実を図るため、老朽化した消防団第27分団3部消防団格納庫の建替えを行うもの。

2 事業内容

事項名	場所	内容
消防団格納庫建設 (消防団第27分団3部)	四杖町126	<ul style="list-style-type: none"> ・既存格納庫解体工事 ・格納庫新築工事(木造平屋建て 約100㎡) ・ホース干し塔設置工事

3 スケジュール(予定)

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
設計・契約事務	既存格納庫解体工事	格納庫新築工事	

4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 51,000	千円 -	千円 -	千円 48,400	千円 -	千円 2,600

※ 施設整備事業債 充当率50%(交付税措置率70%)
一般単独事業債 充当率90%(交付税措置なし)

5 施設の現況等



既存格納庫の現状

消防団第27分団3部	写真	
<p>構造 鉄骨造2階建</p> <p>建築年月 昭和56年3月</p> <p>建築年数 43年</p> <p>建築面積 53.11㎡</p> <p>延べ面積 104.05㎡</p>	<p>外観</p> 	

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
266～269	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	3-1	【単独】消防施設整備事業費 消防庁舎改修	千円 11,200

1 概要

消防局庁舎における非常用発電設備の制御盤内機器が設置から17年が経過し、老朽化しているため制御盤内機器の更新を行うもの。



非常用発電設備



制御盤内機器

2 事業内容

非常用発電設備制御盤内の機器調達に、約18か月を要することから、更新工事を令和6～7年度の2か年で行う。

施設名 (建築年月)	令和6年度	令和7年度	合計	非常用発電設備制御盤内の機器更新工事 【機器内訳】 発電装置コントローラ、自動電圧調整器、 変換器、スイッチ、表示灯、遮断器など
消防局庁舎 (平成19年2月)	当初予算 11,200千円	債務負担行為設定 16,800千円		

3 スケジュール(予定)

令和6年度				令和7年度				
4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
設計・契約事務	機器調達							工事

4 財源内訳

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2	一般財源
当初予算	千円 11,200	千円 -	千円 -	千円 9,100	千円 2,051	千円 49

※1 緊急防災・減災事業債 充当率100%（交付税措置率 70%）

※2 消防事務委託町負担金

5 債務負担行為

契約期間を令和7年度までとすることから、債務負担行為を設定する。

事項名	消防局非常用発電設備 制御盤内機器更新工事		財源内訳				
	ページ	期間	限度額	国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2
338~339	令和7年度	千円 16,800	千円 -	千円 -	千円 13,700	千円 3,076	千円 24

※1 緊急防災・減災事業債 充当率100%（交付税措置率 70%）

※2 消防事務委託町負担金